

ひろげる
つなぐ
かえる

市民活動・ ボランティア ニュース

2009
6

発行 / みえ県民交流センター指定管理者
みえNPOセンター・ワーカーズコープ
514-0009 津市羽所町 700 番地アスト津 3 階
Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971
E-mail center@mienpo.net
ホームページ <http://www.mienpo.net/center/>

2009年5月25日発行
通巻 126号



NPOで働く人材の確保 ・・・NPO活動基盤強化事業の実施

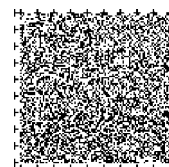
三重県ふるさと雇用再生特別基金事業の一環として、NPOで働く人材を確保することによって財政力や組織力など、NPOの活動基盤の強化をめざす事業が始まろうとしています。

三重県内に活動拠点があるNPO法人など非営利団体からの企画提案コンペ方式で10団体程度を募集するとのこと。詳しくは本文をご覧ください。

この機会を利用して、有能な人材を雇い、やりたかったことを実現するなど、日頃悩んでいたことを解決してみてもはどうでしょうか。

県内のNPOの皆様の奮起を期待したいと思います。

右の様子は SP コードと呼ばれる
バーコードで、専用の読取機で
音声聞くことができます。



三重県NPOグループからお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

●認証申請団体(1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地

(1)こどもぱれっと(2)辻 久好(3)いなべ市員弁町笠田新田1245番地
(平成21年4月10日～平成21年5月9日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

里づくり協議会(平成21年4月9日)

しろこワークス(平成21年4月9日)

熊野ふるさと倶楽部(平成21年4月23日)

(平成21年4月10日～平成21年5月9日届出分)

新しい雇用を生み出す、事業提案を募集します。 (NPO活動基盤強化事業企画提案募集)

NPOが、継続して地域づくりを担い、社会サービスを提供するためには、財政基盤や組織基盤が確立していなければなりません。そのためには、持続可能な事業モデルをつくり、財源を確保し、責任ある事務局体制を整備することが重要になります。

このため、三重県では、NPOから持続可能な事業モデルの企画提案を公募し、採択した事業をNPOに委託実施することにより、NPOの活動基盤の強化を支援し、社会課題の解決や雇用の場の確保につなげたいと考えています。

2年半の期間に、新しく事業を立ち上げて有給職員をおく体制を整えようとする団体、事業を拡大して有給職員を増やそうとする団体の応募をお待ちしています。

●募集内容/NPOの活動基盤を強化する事業

・地域における継続的な雇用が見込まれる事業であること

・新規雇用する労働者の人件費に、委託事業経費の1/2以上を充てること

●委託期間/平成21年9月1日～平成24年3月31日

※年度ごとに契約更新します

●委託金額(上限額)/年間(12ヶ月)で500万円規模の事業を想定しています。

ただし、平成21年度(7ヶ月)の委託金額上限額は315万円とします。

●採択予定件数/10件

●応募資格/

(1) 三重県内に活動拠点がある、民間・非営利団体であること
(法人格の有無は問いません)

(2) 活動分野を限定しません

●企画提案書の提出期限/ 7月1日(水)

●審査(公開プレゼンテーション)/7月31日(金)

●説明会・相談会/事前申込みしてください。

6月 1日(月) 19時～ みえ県民交流センター

6月 2日(火) 10時～ 亀山市民協働センター「みらい」

6月 3日(水) 19時～ 松阪市民活動センター

6月 5日(金) 19時～ 県尾鷲庁舎

6月 6日(土) 19時半～ ゆめポリスセンター

6月 9日(火) 19時～ 津市民活動センター

6月10日(水) 18時～ 県桑名庁舎

6月11日(木) 19時半～ いせ市民活動センター

6月12日(木) 19時～ 四日市市なやプラザ

●申込・問い合わせ先/三重県生活・文化部 男女共同参画・NPO室NPOグループ 514-0009 津市羽所町700 アスト津
Tel.059-222-5981 Fax.059-222-5984

E-mail seiknpo@pref.mie.jp

みえ市民活動

ボランティアセンター

からお知らせ

中間支援組織担当者ネットワーク交流会

～顔の見えるつながりを作りませんか?～

中間支援、NPO支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合って、意見交換する場です。隔月で協働をテーマに勉強会も開催。いずれも無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。

【協働勉強会】●とき/6月16日(火)13:30～16:00

【交流会】●とき/7月15日(水)13:30～16:00

●問い合わせ先/みえNPOセンター・ワーカーズコープ

Tel.059-222-5995

イベントスケジュール

セーラビリティ津 体験試乗会



●とき/6月6日、7月4日、8月1日、9月19日、10月3日(全土曜)
10:00～15:00

●ところ/伊勢湾海洋スポーツセンター

●参加費/500円(保険代)要事前申込

●内容/セーラビリティ津は、世代、障害の有無を問わず、海でセーリングをする機会を通じて、海と海洋スポーツの楽しさを体験・実感し、海や船についての興味が広がることを目的としています。耐波性にすぐれ、誰にでも安全に乗れるよう設計されたヨット、アクセスディンギーを体験しませんか。

●申込・問い合わせ先/セーラビリティ津事務局(辻ヶ堂 諦)

Tel.059-256-4727

要約筆記入門講座

●とき・ところ/6月6日(土)津センターパレス2階

市民活動センター第1会議室

6月13日(土)久居総合福祉会館

津・久居会場共 10:00～12:00、13:00～15:00

●参加費/無料

●内容/聴覚障害者への筆記通訳(要約筆記)を体験してみませんか?初心者向けの講座です。短い話を聞いて書く事から始めます。楽しく体験学習ができます。要事前申込。

●主催・問い合わせ先/三重要約筆記サークル「津あみ〜こ」
(担当:小柴) Tel.059-268-0045 Fax.059-268-4010

みえコミベーシックコーチング

●とき・ところ/6月12日、7月10日(金)

アスト津3階みえ県民交流センター

6月17日、7月15日(水)

四日市市中部地区市民センター3階美術室

●参加費／500円(会場代・資料代)

●内容／(社)日本青少年育成協会認定教育コーチングトレーナーが、教育コーチング理論をもとに、基礎から分かりやすくお伝えします。コーチングを手軽に学びたい、コミュニケーション能力を高めたいという方におすすめ。

6月の講座は【ベーシックコーチング2 質問】、7月は【ベーシックコーチング3 承認】です。当日はビデオ・写真撮影を行う予定。映像や写真は、ホームページ等で利用する場合があります。ご了承ください。

●申込方法／Fax、E-mail、ホームページ。氏名、E-mail、Fax、年齢、住所、職業、「〇月〇日ベーシックコーチング参加希望」を明記。

●問い合わせ先／みえコミュニケーション教育実践会
Fax.059-358-1850 E-mail jimukyoku@miekomi.jp

ホームページ <http://www.miekomi.jp>

※ベーシックコーチング1は終了しました。

初夏のドイツ料理教室 グーテンベルクのレシピ再現!

●とき／6月14日(日)13:30～15:30

●ところ／アスト津5階「食工房」

(津駅隣接ビル Tel.059-222-2525)

●参加費／材料実費

●内容／印刷術を発明したグーテンベルクのレシピに基づいたメニューです。ソーセージ入り力持ち印刷屋のスープ、ヤマウズラ(鶏肉で代用)のパイなどをつくります。

●応募締切／6月10日(水)

●問い合わせ先／向井明子 Tel.059-232-0594

E-mail am.deutsch1685@gmail.com

●主催／三重日独協会

2009年度 第1回 日本笑い学会

みえユーモア支部勉強会

●とき／6月20日(土)13:30開場 14:00～16:30

●ところ／アスト津3階イベント情報コーナー

●参加費／800円(予約申込不要)

●内容／笑いの効用(笑いと健康)小講義と演習の後、漫談、手話と笑い、笑いヨガを行います。

●問い合わせ先／(担当:中村) Tel. & Fax.059-232-6409
(留守の場合は、必ずメッセージをお願いします)

キノコと森のつながり

●とき／6月21日(日)9:30受付 10:00～16:30

●ところ／三重県上野森林公園(伊賀市下友生字松ヶ谷1)

●参加費／無料

●内容／キノコは森の生態系で重要な役割を担っています。キノコと森のつながりに関するお話と、間伐材を利用したナメコの菌打ち体験を通して、キノコについて学びます。

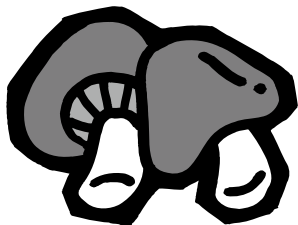
●募集人数／20人(申込多数)

の場合は抽選)

●応募締切／6月6日(土)

●申込方法／郵便、Fax、E-mail。講座名称「キノコと森のつながり」、氏名、郵便番号、住所、Tel、Fax、E-mailを明記。

●申込・問い合わせ先／三重県



環境学習情報センター

512-1211 四日市市桜町3684-11

Tel.059-329-2000 Fax.059-329-2909

E-mail info@eco-mie.com

ラベンダーイン福村2009

●とき／6月26日(金)～29日(月)9:00～16:00

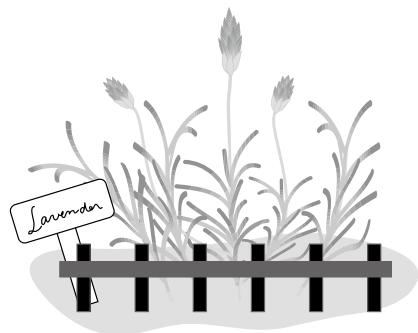
●ところ／菰野町福村(菰野駅より徒歩5分)

●内容／鈴鹿山麓のふもと。伏流水の沸く池が点在する付近の土地を平井鍼灸治療院さまから提供いただき、250株のラベンダーを植えました。

ラベンダーから得られるリフレッシュ感をぜひ、体感してください。入場無料です。

●問い合わせ先／(特活)植えるComeかわしま

Tel.090-9901-3789(担当:稲垣)



第5回母乳育児フォーラム

●とき／6月27日(土)14:00～16:00

●ところ／男女共同参画センター「フレンテみえ」多目的ホール

●参加費／500円(会員無料。当日、年会費2000円で入会可)

●内容／PART1は、井上きよみさんによる癒しのフルートミニコンサート。

PART2は「赤ちゃんにやさしい病院」である聖マリア病院で、小児科医として長年、母乳育児に携わっている橋本武夫先生が、母乳育児支援について語ります。

●問い合わせ先／みえ母乳の会 Tel. & Fax.059-233-0166

みやがわ森選組 第1回生物部

●とき／6月28日(日)10:00～15:00

●ところ／大台町役場宮川総合支所9:30集合

(大台町江馬316番地)

●参加費／無料

●内容／大台町(旧宮川村)地区の休耕田を使用したポケットピオトープ作りや、水辺の昆虫観察をテーマに遊びます。

応募資格は小学生以上です。

●募集人数／先着10人程度

●応募締切／6月27日(土)15:00

●申込先／エコミュージアムセンター 宮川流域交流館たいき Tel. & Fax.0598-86-3851(10:00～16:00)

E-mail mrune-t@ma.mctv.ne.jp

ホームページ <http://miyarune.cool.ne.jp/taiki/>

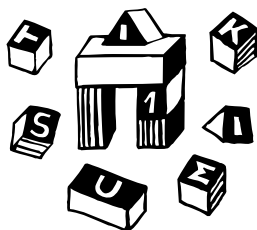
宮川流域ルネッサンス協議会 Tel.0596-27-5411(平日8:30～17:00) Fax.0596-27-5418

ホームページ <http://www.miyarune.jp/>

●問い合わせ先／E-mail bochiboke@mail.goo.ne.jp

きらりカフェ「積み木遊び」

- とき／6月30日、10月6日、平成22年2月16日(全火曜)
10:15受付開始 10:30～12:30
- ところ／四日市まんなか子ども劇場
- 参加費／900円、3回通し2500円(会員は別料金)
- 内容／和久洋三の積み木やモザイクが部屋いっぱいに来るよ。親子で一緒に遊ぼう。読み聞かせもあります。
- 申込・問い合わせ先／四日市まんなか子ども劇場 四日市市西町15-16 Tel.&Fax.0593-51-6670



ヒヌマイトンボ観察会

- とき／7月4日(土)10:00～12:15 (小雨決行)
- ところ／宮川浄化センター(伊勢市大湊町1126)
- 参加費／無料
- 内容／隣接する場所で希少なヒヌマイトンボの生息が確認された宮川浄化センターでは、「トンボゾーン」を設置し保全活動を行っています。その「トンボゾーン」でヒヌマイトンボの観察を行い、生息地の保護について理解を深めます。
- 募集人数／20人(応募多数は抽選)
- 申込締切／6月22日(月)
- 申込方法／郵便、Fax、E-mail。
- 申込・問い合わせ先／三重県環境学習情報センター
512-1211 四日市市桜町3684-11 Tel.059-329-2000
Fax.059-329-2909 E-mail info@eco-mie.com

【三重県難病相談支援センター】

地域難病相談会(桑名会場)

- とき／7月5日(日)13:30～15:00
- ところ／くわなメディアライヴ(桑名市中央町3丁目79)
- 参加費／無料・予約不要
- 内容／専門医や各難病の相談員が、療養生活や生活相談をお受けします。一人だけ、家族だけで悩まず、ご利用ください。今年度は他にも尾鷲(9月)、松阪(10月)、鈴鹿(11月)で開催予定。
- 問い合わせ先／三重県難病相談支援センター
Tel.059-223-5035

よびかけ・報告

『企画の立て方』を教えてください!!

一般企業やマスコミなどで「企画」を担当している皆さん!企画立案のノウハウやコツを伝えてもらう講師になっていただけませんか?講師経験のない方でも語ってもらいやすい「気軽な座談会」をイメージしています。様々な職種の「現場での発案法」を伝えてもらう単発講座を何人かにも願います。予定です。会場は松阪市内。謝礼、日程などは、相談のうえ、決定します。

- 申込方法／E-mail。件名を「企画講師希望」とし、住所・名前・年齢・TELを明記。

●問い合わせ先／NPO法人Mブリッジ(担当:米山)
Tel.0598-23-8400 E-mail info@m-bridge.jp

あなたの愛(アイデア)をかたちに みえユーモア発明研究会の活動

当研究会は一般大衆が発明・考案・アイデアに関心をもてるよう諸活動を展開し生活レベルの向上と幸せな家庭生活のある地域社会を目指します。主な活動は次の通り。

企業経営者並びに一般大衆の中で創意工夫に興味がある方々が集まり、ユーモアなアイデアについてブラッシュアップし、みなが喜ぶユニークな商品に育成するクラブを開催しています。また、東久邇宮記念賞に、この地域で一般大衆発明に貢献された方々を推薦する活動を行っています。このほか、知的財産に関する指導・講義や全国発明コンクール・全国ネーミング(キャラクター)コンクールへの参加指導、知的所有権に関する資格取得指導なども行います。

- とき・ところ(ユーモア発明クラブ)／【四日市】毎月第2日曜午後 楠ふれあいセンター(Tel.059-397-3972)
- 【松阪】毎月第3土曜午後 松阪駅前ベルタウン2階ブンカの交流館(Tel.0598-23-8400)
- 参加費／会費1000円(会場費・資料代ほか)
- 主催・問い合わせ先／みえユーモア発明研究会
Tel.059-397-5412(代表:堀内 司)
ホームページ <http://www.wa.commufa.jp/~purasu>

助成金 情報

【各市町での助成ミニニュース】

津市市民活動推進事業交付金

- 応募締切／6月12日(金)必着
- 助成の対象となる活動／1.市民活動推進事業部門(団体が取り組む活動に対する支援)
2.市民活動団体設立等支援部門(団体設立、または、設立後間もない団体に対する支援)
- 問い合わせ先／津市政策財務部政策課 Tel.059-229-3296
Fax.059-229-3330 E-mail 229-3101@city.tsu.lg.jp
市民部市民交流課 Tel.059-229-3252 Fax.059-227-8070
E-mail 229-3110@city.tsu.lg.jp
津市ホームページ <http://www.info.city.tsu.mie.jp/>

緑と水の森林基金

- 受付締切／6月15日(月)必着
- 助成の対象となる団体／民間の非営利団体、法人、個人(調査研究に限る)。
- 助成の対象となる活動／1普及啓発森林・森林・緑・水に対する国民の認識を深めるための普及啓発活動
2調査研究…地域材の利用・山村資源の有効活用や森林の公益的機能の増進に係る調査
3活動基盤の整備…森林づくり活動を通じた農山村と都市住民等との交流促進
4国際交流…国内で開催される森林に関する国際会議への支援、海外情報の収集
- 対象事業の期間／平成21年9月1日～平成22年8月31日
- 助成の額／限度は団体200万円(特別な事業は300万円)、個人100万円。
- 応募方法／申請書等はホームページからダウンロードするか、返信用封筒に140円切手を貼付の上、下記まで請求。
- 問い合わせ先／(社)国土緑化推進機構(担当:矢内公男、杉山隆志)
102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 Tel.03-3262-8457
Fax.03-3264-3974 ホームページ <http://www.green.or.jp>

緑の募金公募

【一般公募事業】

- 受付締切／6月15日(月)

●助成の対象となる活動／(1)一般事業

国内緑化事業関係・国内で行う次のいずれかに該当する事業。

1.2以上の都道府県にわたる広域的な見地から行う森林の整備(植栽、下刈り、間伐等の作業)や緑化推進を目的とするイベント。

2.居住する都道府県以外で行う森林整備。

3.川上と川下が連携して行う森林整備。

4.その他、上記に準ずる森林整備及び緑化推進を目的とするイベント等。

国際緑化事業関係・海外で行う次のいずれかに該当する事業。

1.砂漠防止や熱帯林再生のための造林。

2.土砂流出防止・水源かん養・薪炭林造成等のための造林。

3.公園・学校の植樹等の緑化。 4.苗畑整備や育苗。

5.山火事防止等の森林パトロール、被害調査等の森林保全管理。

6.その他、上記事業に付帯するセミナーや給水施設整備等。

(2)特定事業

1.花粉の少ない森づくり。 2.災害に強い森づくり。

3.耕作放棄地の森づくり。 4.もったいないキッズ植林プロジェクト。

●対象事業の期間／平成21年9月1日～平成22年8月31日

●助成の額／一事業につき限度300万円(特定事業は100万円)

【特定公募事業「国民参加による間伐及び間伐材の利用促進事業」】

●受付締切／6月15日(月)

●助成の対象となる活動／森づくり活動を行う非営利団体が単独又は他の団体等と連携して行う「国民参加の森林づくり」に係る事業。

間伐等の推進、間伐材等の利用促進、間伐等及び間伐材等利用の普及啓発に係る活動で、全国的見地からモデル性があり、継続的自立的な活動を期待できる事業。

●応募方法／応募要項などはホームページからダウンロード。E-mail又は郵送希望者は返信用封筒(120円切手貼付)に宛先を記入し、下記まで請求。

●問い合わせ先／(社)国土緑化推進機構 102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 砂防会館 Tel.03-3262-8451(代)フリーダイヤル 0120-110-381 Fax.03-3264-3974 E-mail bokin@green.or.jp

ホームページ <http://www.green.or.jp>

【一般公募事業の国際緑化事業関係のみ】

(財)国際緑化推進センター「緑の募金」国際緑化公募係

112-0004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル3階

Tel.03-5689-3450(代) Fax.03-5689-3360

※このほか、【創造的公募事業】があります。締切は5月31日(日)。

環境NGO・NPO地域ワークショップ企画募集

●受付締切／6月22日(月)18:00

●助成の対象となる団体／社団法人、財団法人。これらに準ずる非営利法人。特定非営利活動法人。営利を目的としない民間団体で、環境保全活動に豊富な経験を有する団体。

●予算額／中部・北陸ブロック200万円以内。

●問い合わせ先／独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部地球環境基金課(担当:齋木) 212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー8階 Tel.044-520-9505 Fax.044-520-2190 E-mail c-kikin@erca.go.jp ホームページ <http://www.erca.go.jp/jfge/index.html>

TOTO 水環境基金

●受付締切／6月25日(木)必着

●助成の対象となる団体／営利を目的としない市民活動団体(法人格の有無や種類を問わない)。地域(日本国内)に根ざした活動をしている団体、または日本国内に本部を有する団体で、海外に支部(現地拠点)あるいは現地カウンターパート(現地NGOなど)を有し、現地スタッフが活動している団体。目的や内容が、特定の宗教や政治などに偏っていない団体。

●助成の対象となる活動／日本国内および海外(海外:日本国内に本部を置く団体)で行う、地域の水と暮らしの新しい文化の実現に向けた実践活動や、地域の水と暮らしの関係についての調査研究活動。

●助成の額／総額約1000万円。10件程度。

●応募方法／応募用紙等はホームページからダウンロードするか、郵便番号・住所、団体名、担当者名、電話番号を明記し、Faxで請求。応募は郵送または宅配便。

●問い合わせ先／TOTO株式会社 総務部 TOTO水環境基金係(担当:川口・曾根崎) 802-8601 北九州市小倉北区中島2-1-1 Tel.093-951-2224 Fax.093-951-2718

丸紅基金社会福祉助成事業

●受付締切／6月30日(火)消印有効

●助成の対象となる団体／わが国における社会福祉事業(福祉施設の運営、福祉活動など)を行う民間の団体。原則として非営利の法人。ただし、法人でない場合でも3年以上の継続的な活動実績があり、組織的な活動を行っている団体は対象となります。

●助成の額／総額1億円をめぐに50件以上(概ね70件程度)。1件あたり原則、上限200万円。

※ただし、地域の福祉の向上のために極めて波及効果が大いと考えられる事業案件については、上限300万円とすることもあります。

●応募方法／申込用紙等はホームページからダウンロードするか、郵便番号・住所・団体名・担当者名・Tel・Faxを明記し、ハガキまたはFax、E-mailにて下記まで請求。

●問い合わせ先／社会福祉法人丸紅基金

108-0014 東京都港区芝5-20-6丸紅東京本社三田別館4階

Tel.03-5446-2474・2475 Fax.03-5446-2476

E-mail mkikin@marubeni.com

ホームページ <http://www.marubeni.co.jp/kikin/index.html>

第12回環境ボランティアリーダー海外研修

●受付締切／6月30日(火)消印有効

●応募条件／現在、日本国内外で、環境ボランティア活動の実践においてリーダーシップを発揮している、または今後リーダーシップを発揮したいと思っている方。10月下旬の海外研修参加可能な方。研修帰国後、海外研修生の会である「環境ボランティアリーダー会」に入会し、地域の環境NPOへの情報提供や支援活動の連携が出来る方。募集は5人。

●研修プログラム／環境先進国であるドイツにおいて、ドイツ国内最大の環境団体や関係機関を訪問し、実際のプログラム参加を通じ、環境NPOの活動例に学びながら、資金調達、人材育成に焦点を当て、研修。

●研修期間／10月20日(火)～10月29日(木)までの10日間(予定)

●参加費／研修における渡航費、宿泊費及び10日間のプログラム参加費は、基金が負担。

●応募方法／課題作文、エントリーシートを提出。作文の課題はホームページ参照。

●問い合わせ先／セブン・イレブンみどりの基金海外研修事務局(担当:小野) 102-8455 東京都千代田区二番町8-8 Tel.03-6238-3872

Fax.03-3261-2513 E-mail kensyu12@7midori.org

ホームページ <http://www.7midori.org>

おねがい

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご留意のうえ、積極的なご活用を期待しています。

(1)原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までにお送りください。

(2)送付はE-mail(ない方はFAX)で。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。E-mail center@mienpo.net Fax.059-222-5971

転載を希望される場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえNPOセンター・ワークスコープ」に連絡してください。

みえぎんNPO回

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資！

対象：三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(担当 松川)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重銀行

〈広告〉 5

株式会社等の各種法人設立から許認可手続きまで

NPO・社団法人設立手続

事業報告、各種変更届等の作成もお手伝いします。

フリーダイヤル 法 務 よ い よ

0120-406-414

奥島要人行政書士事務所(本町総合事務所LLC内)
三重県津市本町14-18 URL www.e-houmu.info

〈広告〉

みえ防災市民会議

コーディネーターに必要なのは、コミュニケーション能力

……みえ防災市民会議(以下、市民会議と略)の設立は?

平成20年3月に法人化しました。前身は三重県が平成12年に組織した三重県防災ボランティアコーディネーター養成協議会(以下、養成協議会と略)です。阪神・淡路大震災を契機に、防災に取り組むボランティアが生まれましたが、その力を有効に生かすためにはコーディネーターが必要だと考えられ、その人材育成のために作られました。

平成13年から県の委託を受けて、防災ボランティアコーディネーター養成講座(以下、養成講座と略)を始めました。この講座は今も、活動の柱になっています。

……養成協議会がそのまま、市民会議に移行したのですか?

養成協議会のメンバーに「新法人を設立するので一緒にやりませんか?」と声掛けしました。現在メンバーは97名。男女比は6:4で、年齢は60歳代以上が一番多く、30歳代、40歳代も結構います。

……災害ボランティアの経験者は?

養成協議会結成の時に集まった30名の内、被災地での活動経験があったのが半数ぐらいでした。

……メンバーはどうやって増やしたのですか?

養成講座の受講生に声を掛けて、翌年は講座を作る側に回ってもらいます。毎年、受講生はいますから人も増えますし、入れ替わりもあって、新陳代謝にもなります。

……講座受講生の公募方法は?

県の委託事業だった時は、広報などにも掲載しましたし、養成協議会のメンバーが「この人なら」と思う人に声も掛けました。

自治会参加者やまちづくりや国際交流など防災以外の分野ですでに活動しているなど、二足、三足のわらじが履ける方たちです。

災害時の活動は、普段の活動分野関係無しの総力戦。周りの人と協力関係が作れるということが大切になります。市民会議のメンバー個人がどんなに頑張っても、地域の復興に直接的な力にはなりません。

ん。でも、それぞれが持つネットワークを総動員できれば、もの凄いい力になると思っています。

……一般からの応募もあるのでしょうか?

もちろんいます。

養成講座ではオリエンテーションを行い、私たちがどんな講座を行い、どんな人を養成したいのか全て伝えています。その後、全員に受講希望理由を述べてもらい、作文を提出してもらいます。これらを全てチェックして、選考しています。

コーディネーターというのは、様々な専門家とつながれる人というのが条件の一つだと思っていますので、社交性、コミュニケーション能力がある人を選んでいきます。

……養成講座の定員は?

一応、30人ですが、相応しい人が多ければ、全て受け入れますし、逆に応募が定員割れしていても、向かない人はお断りしています。

……市民会議に参加しようと思ったら、講座を受けなくては行けないのですか?

NPO法人である以上、希望者は誰でも参加できますが、一番いいのは講座を受講してから入ってこれることだと思っています。講座が私たちの活動を知っていただくのに一番良い場だと思いますから。

……メンバーが多いと活動が大変では?

養成講座は県内全域が対象ですから、メンバーも各地域に散らばっています。それで北勢、中勢、松阪・伊勢志摩、伊賀、東紀州というブロックに分けて、ブロック独自で月一回、会議を行っています。

全体の定例会は、各ブロックから一人以上出席してもらい、事務局のメンバーも参加して、月一回開催しています。

……各ブロックの活動は自主性に任せている?

NPOにとって、一番大事なものは上意下達ではないということだと思います。一人ひとりが自主的に動く総体としてNPOがあると私は思っているのです。

私の役職名が議長で、理事長や代表ではないのも、わざとです。私がするのは議事の進行。会の方向性に対するアイデアは出しますが、それに乗るかどうかは皆さん次第ですから。

講座企画からスタートする コーディネート

……講座の内容について教えてください。

年4回の講座で、半日または一泊二日がそれぞれ2回という構成です。

内容は「防災とは?」「ボランティアとは?」「コーディネーターの役割」など、災害時のボランティア活動についての基礎が必ず入っています。

それから「被災するということ」。ボランティアコーディネーターと言うと、ボランティアをコーディネートできればいいと思う人がいますが、一番大切な役目は被災地、被災者が復興するための手伝いです。その手段としてあるボランティアという道具を、被災者が上手く使えるようにするのがコーディネーターです。そのためには、被災者の気持ちに



2008年養成講座の様子。

NPOにとって、一番大事なのは上意下達ではないということ。むしろだと思っています。一人ひとりが自主的に動く総体としてNPOがあると私は思っているのです。



2008年県総合防災訓練の様子。

で活動しているNPO団体「おはらい町会議」が「おはらい町」の避難対策を考えたいと提案されて、うちは防災のノウハウを提供することになりました。伊勢市の防災、観光の各部署にも参加してもらおうと考えています。一つの集客施設であれば防災対策も難しくありませんが、「おはらい町」のように業者が集まって、地域で観光誘客をしている場合は、災害時の責任がどうなるかと、いろいろ問題が出てきます。

「おはらい町」で対策を考えれば全国的に通用するノウハウになりますし、県内には二見や鳥羽など、観光地が多くありますからね。これは講座と並ぶ、新しい柱になると思って、力を入れています。

……他団体との協働経験は？

昨年は三重県国際交流財団から委託を受けて、災害時に外国人と積極的にコミュニケーションを取れるボランティアの養成講座を提案しました。国際交流と防災と言うと通訳ボランティアを想像しがちですが、災害という生死に関わる問題に直面した時、中途半端な通訳をするわけにはいかないでしょう。そこで僕らのノウハウとして提案したのが「外国人が困っていることを知っている市民を増やすこと」でした。これはいい内容の事業になったと思いますし、勉強にもなりました。あと、難病団体と協働して、専用の防災マニュアルを作りました。

法人化以前のことで、[1型糖尿病]の全国的な患者会「日本IDDMネットワーク」の方と知り合う機会があり、3年ほど災害時行動についての検討事業を行い、冊子にまとめました。「1型糖尿病患者」はインシュリンが無いと命に関わるのですが、阪神・淡路大震災で入手困難になった時、患者さん同士が融通しあって助け合ったことがあったそうで、より日常からの備えの検討をしたいと考えていました。NPO的には、異業種と言うのでしょうか。そのネットワークで防災活動を行う、面白い展開になってきていると思います。

【データ】

516-0005 三重県伊勢市竹ヶ鼻町170番地1
Tel.050-7000-6029
Fax.050-7000-6029
E-mail webmaster@v-bosaimie.jp
ホームページ <http://www.v-bosaimie.jp/mcdp/>
●代表者/山本康史
●団体設立年月日/平成19年11月10日
(前身となる任意団体は平成12年設立)
●NPO法人化年月日/平成20年3月4日
●会員数/97名(平成21年5月1日現在)
●会費/3000円/年

寄り添う必要がありますからね。

もう一つ大切なのは日常活動。災害が起こった時だけの活動ではありませんから、平常時に何をやるか、できるかを考えなくてはいいけません。

……受講料は？

県からの委託事業の時は無料。昨年から自主事業になりましたので、年間受講料一万円で運営しています。

……講座の企画はどうやって行うのですか？

一番最初に養成協議会のメンバーで作った時は、マニュアルや県からの指示が一切無かったので、とにかく手探りで考えました。

最初は「ボランティアコーディネーターって何だろう」ということ。半年ぐらいかけて、皆で侃々諤々の議論をしました。それで、その内容を受講生に伝えようということになりました。

とにかく、自分たちでできることを伝えていく。必要だと思ったことを企画にしてみる。このプロセスを何度も繰り返して、一応の流れが見えてきたのは講座を開始して、5〜6年経った頃でした。

……企画は全員で考えるのですか？

毎年、受講生を勧誘していますが、企画をメインに考えるのはその人たち。つまり、前年度の受講生が今年度の企画を作っています。

実は、受講生というのは訓練対象で、コーディネーターとしての本当のスタートは、受講後、企画に回ってもらったところだと、私たちは思っています。覚えることが大事なのではなく、伝えることが大事ということです。毎年、企画者が違いますから、テーマは一緒でも講座内容は違ってきます。それも私たちの講座の面白いところですよ。

……企画の進行は？

企画を作るには月一回程度は会議を行う必要があるのですが、現在は各ブロック単位で企画を担当してもらっています。第1回講座は北勢、第2回は中勢…というふうです。一年の講座はひとまとまりでありつつ、一つひとつの企画が独立しているのです。

……今年度の企画は？

今年度は伊勢湾台風50年、2004年の水害から5年という二つの区切りが重なるので、風水害をテーマにし、講座の基本を押さえながら企画するよう、各ブロックに声かけをしようと考えています。

……法人化で変わったことはありますか？

任意団体でできることと、法人化して意識が高まってできることは違うと、わかりました。以前は、養成講座だけ行っていればいいと思っていましたが、今は地域の防災啓発や行政や他の団体とのネットワークを作ることにも意識が向いています。各ブロックでも、地元の防災訓練に参加したり、地域の行政や団体とネットワークができていますので、意識や責任が高まっていると思います。

……他の団体や行政との関係は？

依頼があれば、防災啓発講座の講師やワークショップのコーディネーターも引き受けます。

あと、今年は伊勢市と協働事業を行う予定です。内宮前に「おはらい町」という観光地域があり、そこ

ひろげる・つなぐ・かえる

今回からみなさんに一緒に考えていただきたい課題をNPOの視点で取り上げます。

進化する協働

「協働」という言葉が自治体や市民活動の関係者の間で魔法の杖か、何でも解決できる呪文であるかのように口にされるようになってから久しいですが、果たして自治体とNPOの協働の現場は現在どうなっているのでしょうか？

一時的な「協働ブーム」が去り、自治体側にもNPO側にも「協働疲れ」が起こっています。その結果、「協働」という言葉に対する一種のアレルギーのようなものが見受けられます。「協働」で事業を行う場合、自治体側にしてもNPO側にしても人的資源や知的資源、さらには資金などを投入しますので、1プラス1＝3以上の相乗効果がなければ一緒に事業を行う意味がありません。

しかしながら一定期間を経してみると、自治体側が形として協働しなければならないという流れもあり、NPO側でもミッションよりも事業を行うことにとらわれていた面も否定できません。相乗効果どころかマイナスイメージを抱え込んでしまったのが、多くの現場だと思われます。

2009年4月24日に開催された平成20年度「NPOからの協働事業等提案」実践報告会【三重県NPOグループ主催】で優れた報告がなされました。NPOからの事業提案の初年度(平成15年度)から生まれた「チャイルドライン24」・子どもの心を受け止めるネットワークみえの協働事業体の事業がそれです。

子育て支援から子育て支援へと子ども施策は大きく転換を迫られているいま、子どもを主体としてとらえる子どもの権利条約の考え方が土台となります。しかしながら、いまの社会は子どもの権利保障とは程遠い状況です。5年間の事業実績をもとに、子どもの権利条例や子ども施策づくり、子どもの参画、地域づくりにつながっていくさまざまな公共サービスの協働事業化などを県や市町の関係部局、子ども支援系NPOなど関係者とともに検討し具体化、実施していくための「協働のテーブル」づくりに、この1年腐心してこられました。従来の一緒に事業をするだけという段階から一歩も二歩もふみこみ、協働事業提案の枠を超えて行政改革、政策提案に進んでいく協働の進化形、理想像ともいえます。

市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】

●津市●みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/分部食堂/(有)デザインオフィス萩野 ●桑名市●桑名市市民活動支援センター ●いなべ市●いなべ市市民活動センター ●東員町●とういんボランティア市民活動センター ●四日市市●四日市市市民活動センター/みえチャレンジプラザ ●亀山市●亀山市市民協働センター ●鈴鹿市●市民ネットワークすずかのぶどう ●松阪市●三重県立大学/松阪市市民活動センター ●伊勢市●特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会/いせ市民活動センター ●鳥羽市●鳥羽NPOネットワークセンター・結 ●名張市●名張市立図書館/名張青年会議所/皇学館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター/エコリゾート赤目の森/名張市市民活動支援センター/くらしの情報センター同夢 ●伊賀市●ウィリアム・テルズ アップル まちづくりセンター/伊賀市中央公民館/伊賀市立図書館/上野青年会議所/伊賀市市民活動支援センター ●明和町●めいわ市民活動サポートセンター ●南伊勢町●南伊勢町市民文化会館 ●紀宝町●紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/第三銀行各店/メディカルー光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター)(桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野)/三重県米町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/宮富歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/各市町役場

協賛

この市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

東海ろうきん
健全・安心・貢献

JAバンク
三重県下JA/JA三重信連

270 PRINTED WITH SOY INK 古紙70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。